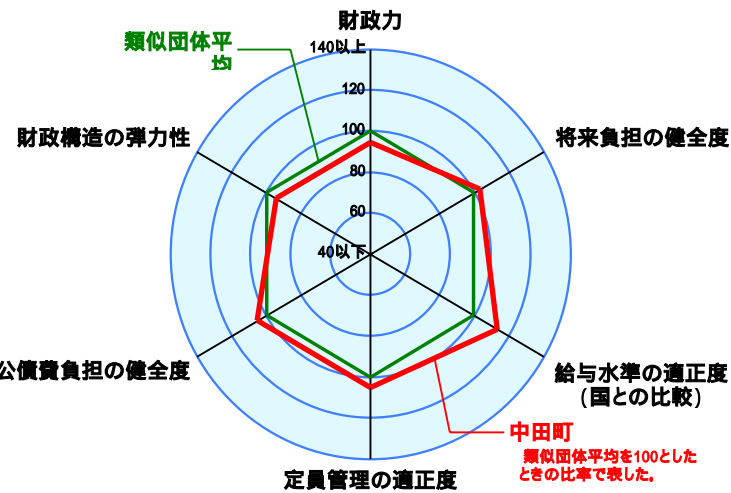
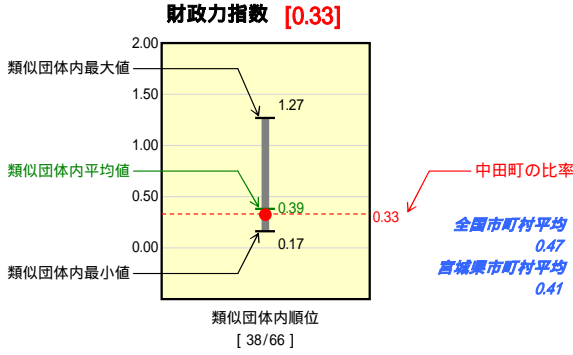


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

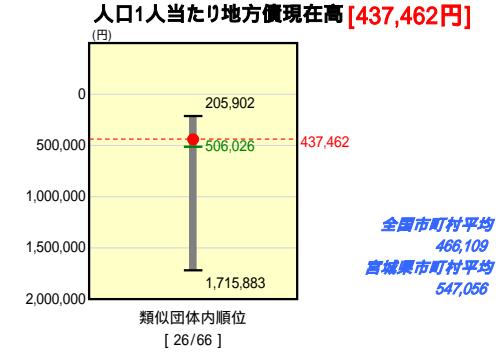
宮城県 中田町

人口	16,932人(H17.3.31現在)
面積	62.23 km ²
歳入総額	7,582,251千円
歳出総額	7,718,586千円
実質収支	-136,335千円

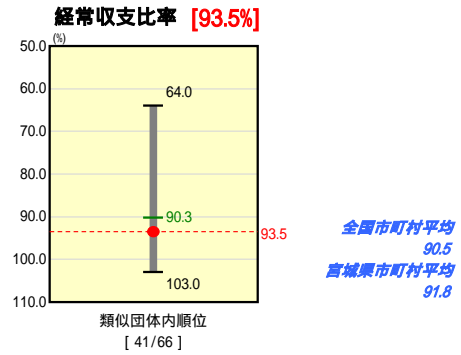
財政力



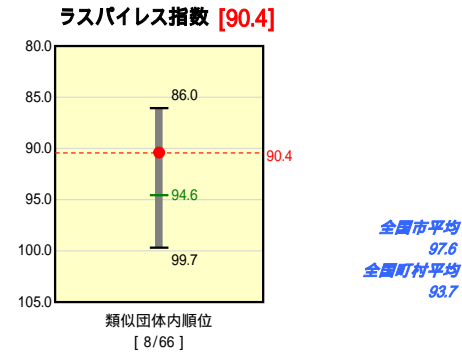
将来負担の健全度



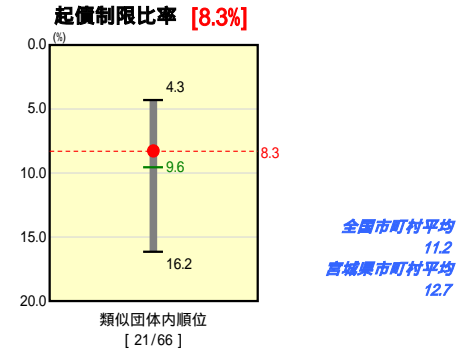
財政構造の弾力性



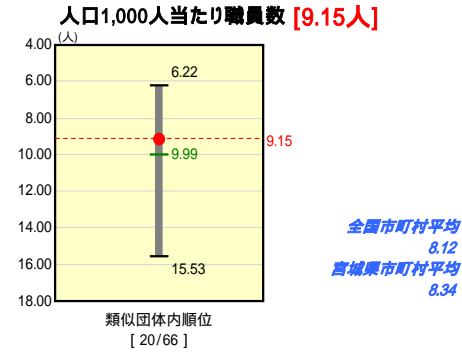
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析概

財政力指数
 ・ここ4年間で連続した伸びを見せており、0.327となっている。平成17年4月1日合併により、財政基盤強化の強化が図られたところであるが、今後とも登米市として歳入削減、定員管理・給与の適正化、地方税の徴収強化等の取組みを通じて、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率
 ・平成17年4月1日合併に伴う打ち切り決算により、本来出納整理期間中に収入すべき歳入が新市の歳入となったことから、経常収支比率は93.5%と前年度と比較して9.6ポイントも上昇した。通常ベースと比較しても90.3%と類似団体の平均値と同値を示しており、更なる義務的経費の適正化を図る。

起債制限比率
 ・第3次中田町総合計画のもと、地域住民との意見交換を図り適量・適切な事業実施により、類似団体の平均を下回る8.3%となっている。この水準は過去3年間、同程度となっており、合併し新市となった今後も、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口1人当たり地方債現在高
 ・類似団体平均を下回っているが、新市となった今後も適切な事業選択により起債に大きく依存することのない財政運営を図る。

ラスパイレズ指数
 ・地域の民間企業の平均給与の状況を踏まえ、給与の適正化に努めたこと等により、類似団体平均を大きく下回っている。今後も更なる事業の適正化を図る。

人口1,000人当たり職員数
 ・過去からの新規採用抑制策等により、類似団体平均を下回っている。新市となった今後も、より適切な定員管理に努める。

平成17年4月1日、合併により「登米市」となる